

令和8年6月24日

福知山市議会議長 吉見 茂久 様

予算審査委員会委員長 田淵 裕二

## 委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

### 記

#### 1 委員会付託議案

- ・議第 1号 令和8年度福知山市一般会計補正予算(第1号)
- ・議第14号 令和8年度福知山市一般会計補正予算(第2号)

#### 2 審査の概要

6月17日、18日に委員会を開催し、付託議案の審査を行いましたので、主な概要について 報告します。

初めに、議第1号のコミュニティ助成事業について、「助成の対象設備の内訳」を問う質疑があり、「つつじヶ丘自治会は、新しい集会施設の会議室に必要な長机、椅子、コピー機などの備品を整備する。鴨野町自治会は、除雪機2台、草刈り機2台を購入される」との答弁がありました。また、「コミュニティ助成の申請状況」を問う質疑があり、「本年度は3自治会から申込みがあり、2自治会が採択された」との答弁がありました。

次に、ゴミ収集運搬事業について、「指定ごみ袋作製業務に係る単価見直しの要因」を問う質疑があり、「中東情勢の影響により、原料であるナフサの確保が困難となり、製造業者から単価見直しの申し出があったもので、他市の発注業者の状況なども分析し、今回の価格上昇はやむを得ないと判断した」との答弁がありました。また、「ごみ袋の安定供給のためのストックの状況」を問う質疑があり、「例年、債務負担行為を設定し、前年度中に半年かけて翌年度分のごみ袋の作成に向けた準備をするサイクルを導入しており、これにより早期発注と随時のストック確保が可能となり、新年度も途切れなく円滑に安定したごみ袋を供給できる体制を維持している」との答弁がありました。

次に、保健衛生一般経費事業の福知山医師会看護高等専修学校への補助金交付について、「今回の補助金増額分250万円の算出方法」を問う質疑があり、「学校から提出された収支予算書を確認し算定している。令和8年度の入学者数は8人となり、令和7年度の21人から13人減少しており、約1,000万円の運営費が減収となっている。学校運営費の不足分の支援について医師会からの要望があり、精査の結果、この部分を予算計上した」との答弁がありました。

次に、ゼロカーボンシティ推進事業の脱炭素先行地域づくり事業について、「夜久野地域をはじめとする先行地域のエリアへのメリット」を問う質疑があり、「先行地域のエリアを舞台に、地域内で再エネを生み出し、活用するモデルを実現したい。また、該当エリアの需要家の皆様に、出来るだけ価格的にもリーズナブルな電気をお届けしたい。事業者には再エネ事業を通じて地域に貢献し、還元する取り組みを求めている」との答弁がありました。また、「稚児野台の太陽光発電設備の発電量」を問う質疑があり、「発電設備はパネル容量で、計画上2.6メガワットで提出している。一般家庭で約650戸分の発電量が期待される」との答弁がありました。

次に、議第14号の花火大会支援事業について、「特別観覧席の警備体制」を問う質疑があり、「福知山城と庁舎のそれぞれに8人ほどの警備員を配置したいと考えており、費用は委託料に含まれている。また、庁舎内の案内などもあり、警備員とあわせて市の職員の対応を考えている」との答弁がありました。

#### 反対討論

議第1号について反対する。ゼロカーボンシティ推進事業は、太陽光パネルに関する住民説明と住民合意が明確でないこと。さらに現時点において、太陽光パネルの安心安全の担保が明確に確認されていない。経営的な採算にも不安があるため反対する。

#### 賛成討論

全議案について賛成する。今回の補正予算は、通学路の安全な整備にかかる予算、市民への安定的なゴミ袋の供給に向けての予算、また本市が選定された脱炭素先行地域事業の推進に向けた予算、民間活力を生かして実施する花火大会支援のための予算など、いずれも市民生活の維持やふるさとの活力向上に必要な予算編成である。とりわけ、ゼロカーボンシティ推進事業は、脱炭素の取り組みの推進とともに、養豚団地跡地の再生という夜久野地域の課題解決にもつながる予算であり、速やかに円滑な事業執行が必要であるため賛成する。

### 3 審査結果

- ・議第 1号 賛成多数で原案可決
- ・議第14号 全員賛成で原案可決